



全国の **農家の** 皆さん！

国際水準GAP

に取り組んでみませんか

ギャップ
国際水準GAP
ってなに？

GAP (Good Agricultural Practices : 農業生産工程管理) は、農業生産の各工程の実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動です。

農林水産省では、**食品安全、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理**の5分野を含むGAPを国際水準GAPと呼び、普及を推進しています。

食品安全

(取組例) 使用する器具や作業場の衛生管理



食料生産に携わる者として生産物の安全を確保

生産工程に潜む食品安全上のリスクを把握し、対策を講じる

環境保全

(取組例) 騒音や悪臭等への対策。廃棄物の適切な処分



未来のための自然環境の保護と地域社会との共生

生産活動が周辺環境に与える影響を把握し、対策を講じる

農場経営管理

(取組例) 業務毎の責任者の設定



農作業に携わる全員がやりがいを持って働ける環境をつくる

経営方針や役割分担、農場ルール等の整理・見直しを行い、より良い農場を目指す

国際水準GAP

5分野の取組

人権保護

(取組例) 性別、国籍、宗教等で作業者を差別しない

働く人の人権を守る

差別や偏見がない職場環境をつくるとともに、労務管理を適切に行う

働く人の安全を守る

農場や農作業に潜む危険な箇所や作業等を把握し、対策を講じる

労働安全

(取組例) 機械の使用方法、注意・禁止事項の確認と実践



国際水準GAP に取り組む メリットは？

GAPにより、農業経営の持続的な改善に
取り組むことで、様々な効果が得られます。

短期的なメリットの例

-  電気代の節約、燃料消費量の削減に
-  整理・整頓による作業時間の短縮に
-  適正な肥料の使用につながり、過剰施肥分のコストの削減に
-  作業安全への意識改革に



長期的なメリットの例

-  温室効果ガスの削減等により、地球環境の保護に
-  SDGsを認識した実需者・消費者からの引き合いに
-  従業員や後継者の育成、円滑な経営継承による更なる経営発展に

国際水準GAP でSDGsに 貢献！

GAPは農業において「持続可能性を確保する」ための取組であり、SDGsと目指す方向が同じです。国際水準GAPに取り組むことで、SDGsに貢献することができます。

国際水準GAPの 実践



エス・ディー・ジーズ

SDGs（持続可能な開発目標）とは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意。

良い農場を目指して、できることから取り組んでみませんか？

- 農林水産省では、国際水準GAPのガイドラインや、オンライン学習ツール「これから始めるGAP」等を公開しています。
- 国際水準GAPの指導を受けたい方は、まずはお住まいの都道府県の相談窓口までお問合せください。

<詳しくはこちらのHPへ>



農林水産省HP：TRY-GAP!!